



Inclusive support

地域包括支援センター

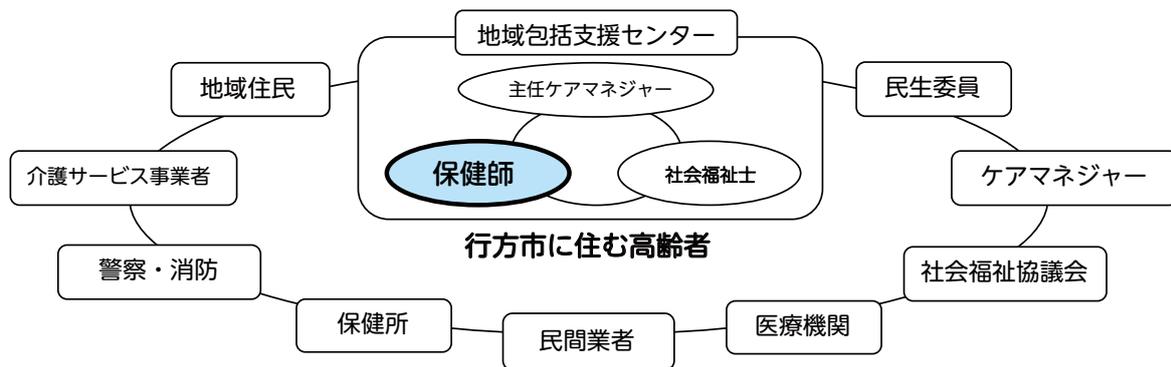
行方市地域包括支援センター

☎ 0299-55-0114

いつまでも健やかにすみなれた地域で生活していただけるよう、高齢者やご家族のみなさんを、医療、保健、介護および福祉などさまざまな方面から総合的に支援します

地域包括支援センターの保健師とは？

地域包括支援センターは、主任ケアマネジャー、保健師、社会福祉士の3職種が中心となり、お互いに連携を取りながら「チーム」として活動しています。



保健師は、健康教室や認知症予防教室を通じて介護予防に取り組んでいます。

地域包括支援センターでは、主に「介護予防ケアマネジメント業務」「総合相談支援業務」等、高齢者の方ができる限り介護が必要な状態にならないようにするとともに、介護が必要になっても高齢者の方の状況に応じたサービスが切れ目なく提供されるよう、あらゆる支援につなげることを担当しています。

具体的には…

▼介護予防を強化しています！

おおむね65歳以上のお元気な方々を対象に、介護予防教室を開催し、教室参加者をボランティアやリーダー候補者と捉え育成を図っています。

地域における介護予防の取り組みを強化するために、なめがた地域医療センターのリハビリテーション部と連携し、市内通所介護事業所と情報共有・交流を行っています。

本市の元気な高齢者を増やすために、さまざまな部署や関係機関と協力し、高齢者を支援しています。

▼認知症予防に取り組んでいます！

おおむね65歳以上のお元気な方々を対象に、認知症予防教室を開催し、教室参加者をボランティアやリーダー候補者と捉え育成を図っています。

認知症予防・普及啓発の活動として、認知症予防講演会開催や認知症サポーター養成等を行っています。

▼さまざまな相談を受け付けています！

保健師は、高齢者やその家族に必要な介護サービスの相談に応じ、医療機関などの関係機関の紹介や調整を行ってサポートします。介護に関する相談や悩み以外にも、医療や健康などの相談が可能です。

例えば…「あそこのおばあちゃん、数日前から見かけないの」「そろそろ介護のことを考えてみようかしら」「親が最近物忘れが多くなってしまいどうしたらいいの？」など、困ったことや心配なことがありましたら、お気軽に地域包括支援センターにご相談ください。皆さまが、安心して生活していただけるように、一緒に考えていけたらと思います。